



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会
連絡先
志津南市民センター
(公民館) 563-6206

第2回志津南スポーツまつり

雨中に熱戦、若草7が優勝



小雨の中で入場行進

第2回志津南スポーツまつり(志津南体育振興会主催)が10月1日、若草中央公園で行われ、雨にもかかわらず昨年を上回る約400人が参加しました。

中央公園での開催は今回が初めて。位置的な面、地域のシンボルという面から、昨年の志津南小から会場を移しました。また多くの人が参加しやすいうプログラムを工夫しました。



保育園児とふれあう参加者

志津南地区敬老会(同社会福祉協議会主催)が「敬老の日」の9月18日、志津南市民センター(公民館)で行われました。当日は去年よりも多い113人(70歳以上)が出席、地域ぐるみで長寿を祝いました。

午前11時、山崎助役(市長代理)の祝辞に始まり、食事会のあと午後からアトラクションに移りました。今年のアト

ラクションはこれまでのような外部のブローは招かず、地元小学校やサークルに限定、出席者みんなが参加できる歌や器楽演奏を柱にプログラムを構成する手づくりの敬老会に切り替えました。

アトラクションでは、若草くるみ保育園の子どもたちが元気な歌と踊りを披露し、「いつまでもお元気で」と声をそろえると、会場には「ありがとう」と喜びの笑顔があふれました。

また、志津南小6年生による「すこやかセミナー」

地域ぐるみで長寿祝う 敬老会

「すこやかセミナー」
食育を考えよう



食育の大切さを説く山元講師

志津南青少年育成区民会議は9月24日、志津南市民センター(公民館)で「すこやかセミナー」を開催、山元陽子滋賀県地域活動栄養士から「みんなで食育、

楽しい食育」と題した講演を聞ききました。

健全な食生活による健康な心身の育成をめざす「食育」をテーマに、山元さんは「なぜ、今食育が大切なのか」を現代の食の問題点や高齢者の食事などに触れ、エピソードを交えながら、食育の重要性を訴えました。

会場には子育て中の女性から高齢者まで約40人が出席しましたが、参加者からは「日々を元気に楽しく心身ともに健康な生活を送るためにも、もう一度、食生活を見直そう」という気持ちになりました」との感想が聞かれました。

最後に懐メロを歌う会を中心に約40分間「青い山脈」など全10曲を全員で合唱し楽しいひと時を過ごしました。

(龍大学生取材班)

ジュニアポリスが出動 安全運転訴えアンパン配る



安全運転を呼びかける児童

秋の交通安全運動期間中の9月25日、志津南小の3年生41人がジュニアポリスの制服に身を包み、かがやき通りの若草中央バス停付近でドライバーに事故防止を呼びかけました。児童たちは、それぞれ交通安全の思いを託したメッセージを書いたハガキと、交通安全協会志津南支部が準備したアンパンをアンパンマンのシールを貼ったビニール袋に詰め、草津署員が誘導した車のドライバーに手渡ししながら「安全運転に心がけてください」と訴えました。児童たちのメッセージには、社会問題となっている飲酒運転

に絡むものも多く、ドライバーに「飲酒運転はしないでください」と訴える児童もいました。この啓発活動には児童、先生のほか、草津署や草津・栗東交通安全協会、民生児童委員、志津南市民センター職員など多くの方が参加しました。
(草津栗東交通安全協会)

最優秀賞に廣瀬君

児童の交通安全ポスター

志津南小の児童が夏休みの宿題に描いた交通安全啓発ポスターの審査がこのほど行われ、最優秀作品など63点が志津南市民センター（公民館）ロビーに展



最優秀賞の廣瀬君の作品

示されました。志津南地区安全会が募集したもので、63点の作品が寄せられました。9月16日にセンターで行われた審査の結果、最優秀賞に同小2年の廣瀬諒君（岡本町）の作品が選ばれたほか、会長賞1人、優秀賞10人が選ばれました。優秀作をはじめとする作品は、秋の交通安全運動期間に合わせ、9月17日から24日まで同サロンに展示しました。

(交通防犯部)

廣瀬君の作品は、危険な場所では遊ばないをテーマに、道路上でサッカーボールを蹴って遊んでいる子どもと接近する自動車を描いたので、センターを訪れた住民らは子どもたちの交通安全に対する意識の高さに感心していました。

「協奏」の大切さ強調 紳士淑女講座で塚田さん



紙芝居の魅力を語る塚田さん

「かわること・たもつこと」をメインテーマに「紳士淑女の井戸端会議2」の第1回が9月9日、志津南市民センター（公

民館）で行われました。

この日は「字ぶ楽しさ活かす喜び」定年後は夫婦でボランティアがテーマ。講師に「かつぷるつかだ」（塚田潤一さん・初子さん夫妻）を迎え、手づくり紙芝居の魅力やセラピードッグの「セララ」（ラブラドル8歳）の活躍を交えた話に耳を傾けました。

紙芝居を始めて8年になる塚田さんはこれまでさまざまなコンクールで入賞しており、これまで約20作品制作しました。紙芝居から舞台まで全てが手

づくりという塚田夫妻の今回の出し物は「ウンツプ物語」「鬼はうち」など4作品。アイディアに富んだストーリーや素人とは思えない初子さんの絵に会場からは大きな拍手が送られました。

塚田さんは「紙芝居を通して学んだことを活かす喜びを知った。競争ではなく、みんなで喜びを分かち合う、協奏が大切」と語るとともに、セララちゃんを通して動物のもつ「癒し」の力の大きさを強調しました。

受講者は実際にセララちゃんと触れあい、会場は終始温かなムードに包まれていました。
(龍大学生取材班)

自彊術で健康維持

志津南公民館の自主教室「自彊術」が9月12日、同公民館で行われ、子育てを終えた年代の人から70代の女性まで30人が参加しました。

関係者によると、自彊術は健康体操と治療術をミックスした全身運動で、日本人に一番マッチした運動だといいい、成人病などを防ぎ、健康を維持するのに効果があるということです。

ストレッチや呼吸法を組み合わせた全身運動は、汗もかくかなりハードなものです。参加者からは「自彊術をするようになり肩凝りがやわらいだ」「霜焼けがなくなった」といった実際の効用を話すとともに、「ここで友人ができ、普段お付き合いできない方と知りあえたことがうれしい」など、地域のつながりが新しくできたことを喜んでいる様子がうかがえました。

(龍大学生取材班)



健康維持に汗を流す

小中保でスポーツの秋

20周年祝う盛り上がり 熱く燃えた志津南小運動会



1・2年生の団体演技

志津南小学校運動会が9月16日、同校で行われました。創立20周年を迎えた今年のスローガンは「南っ子が一つになつて感動の運動会をつくりだ

そう」。早朝よりあいにくの小雨となり心配されましたが、天気は次第に回復、鷹羽校長先生の「集団の中で生きていく力をつけたい」とのあいさつに続き、8色の縦割り班の団旗が並ぶ中、児童代表が「力を合わせて最後までがんばります」と力強く宣誓。団体競技、徒競走、リレーなどに熱戦を繰り広げました。6年生にとっては最後の運動会。見事に団体演技を完成させ拍手を受けました。また、初め

の運動会となった1年生は、紅白対抗で頑張る仲間に大きな声援を送っていました。老人会の皆さんに教えてもらった江州音頭では、PTAや地域の人も加わって大きな輪となるなど、大変盛り上がった運動会となりました。

高穂中でも体育祭

第23回高穂中学校体育祭が秋晴れの9月15日に同校グラウンドで開催されました。「金のように堅く蘭のように美しい友との団結を目指して」と熱い思いをこめたテーマのも

とに、「団結の火のリレー」との宣誓に続き、620余人の仲間たちが見守る中、6人のランナーにより聖火が聖火台に点火され競技がスタートしました。6団のカラフルな団旗が大きく振られる中、100名超のリレー等にメガホン、笛、手拍子で、力走するチームメイトに声を張り上げ声援を送っていました。

また午後は1年生による十字法太極拳を力強く演技、各団の応援合戦なども注目を集めていました。

くるみ保育園七

第21回若草くるみ保育園運動会が10月7日、志津南小学校体育館で行われ、保護者に伴われた園児約120人が参加しました。今年のテーマは「パワー全開、地球の仲間たち!」。五歳児のじ組全員の元気いっぱいの宣誓でスタートしました。かけっこ、お遊戯、玉入れ、そしてお父さん、お母さんも参加



熱こもる玉いれ

取材実習を終えて

龍谷大社会学部コミュニケーションマネジメント学科の要請に基づいて自治連が受け入れた同科学生5人の第一期取材実習が9月末で終了しました。地域内での取材活動を通して一期生は、志津南の町、人と接して何を学び、どんな印象を持ったのか、その感想を寄せてもらいました。現在、2回生4人が引き続き第二期の現地実習に入っています。

私たちは大学の現場実習の一環として、この町で「志津南NEWS」の取材体験をさせていただきます。地域のみならずには6月から9月末までの約4

か月間、親切にご指導いただき、たいへんお世話になりました。初めは緊張しながら実習に参加していましたが、実際に地域に入って、まちのイベントや活

動を取材してみると、そこには大学の授業では味わえなかった様々な刺激やふれあいがあり、やりがいを感じながら取り組むことができました。今回、私たちが最も学んだことは取材や記事作成の難しさの中で、まずは相手や読者の立場になることが大事だということでした。取材で自分が見たり、聞いたり、感じたりした内容を記事という形で分かりやすく伝える。簡単なようでなかなか

まくいかず、言葉の難しさや奥深さに何度も悩まされました。でも、自分たちが苦労して書き上げた記事が掲載された時はとてもうれしく思いました。おかげさまで、私たちは本当に充実した夏を過ごすことができました。今後、この夏の経験を胸に刻みつつ、それぞれが自分の道を進んでいくことと思えます。ありがとうございました。(取材実習班 田水綾)

お知らせ

志津南市民センター(公民館)が次の2講座の受講生を募集しています。ふるってご参加下さい。

「親子で楽しく音遊び」講座
心と体で音楽を楽しみませんか。リズム運動をしたり、楽器にふれたりして、いきいきした運動神経と豊かな感性を養います。親子のふれあいを楽しんでもください。

日時 10月30日(月)
10時~11時半
場所 志津南公民館

対象 就学前の子どもと保護者20組(多数の場合抽選)
受講料 親子一組300円
締切 10月20日(金)
ET講座「年賀状づくり」
パソコンを使って、自分だけの年賀状を作ってみませんか。
日時:11月29日(水)
13時~16時
内容:年賀状作成
対象:文字入力のできる方
受講料:300円とテキスト
代(価格未定)
締切 10月31日(火)
申し込みはいずれも志津南公民館まで。

こども

- 10月18日(水) 古今東西『お茶の世界』 10:00~12:00
- 10月19日・26日(木) IT講座『ちらし・ポスターをつくろう』 19:00~21:30
- 10月21日(土) 志津南小学校20周年記念事業 10:00~12:00
志津南小学校あきまつり 10:00~15:00
若草くるみ保育園
- 10月22日(日) 地域福祉懇談会 10:00~11:30
- 10月24日(火) 地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 10月25日(水) やすらぎ学級『秋の交通安全』 13:30~17:00
- 10月28日(土) 防災訓練(講習) 10:00~12:00
志津南市民センター・若草中央公園
わんぱくプラザ南っ子『ハロウィンを楽しもう』 13:00~15:30
- 10月30日(月) 「親子で楽しく音遊び」講座 10:00~11:30
- 11月10日(金) ファミサボキャラバン隊(親子ひろば) 10:00~12:00
ふれあい昼食会 12:00~13:00
- 11月11日(土) わんぱくプラザ南っ子 9:30~13:00
- 11月12日(日) 平和祈念講演・お茶会 10:00~12:30
- 11月14日(火) 地域サロン：懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 11月15日(水) 古今東西『甲賀方面』 9:00~16:00
- 11月18日(土) 紳士淑女の井戸端会議『進化する携帯電話』 10:00~12:00

印の開催場所は志津南市民センター(公民館)



デザートにこだわる

ビストロ

ルポルポ



若草で店を開いたのは「住んでいる人たちに気軽にフランス料理を演出している。料理に移る。ランチメニューは、A千二百円、B千八百円、C二千五百円(税別)の3コース。Aは基本で前菜、スープ、魚または肉、デザートとコーヒーか紅茶。Bはオードブルが選択可能となり、デザートは盛り合わせとなる。Cはメインが魚と肉の2種、色数も増える。

ディナーはA三千円、B四千五百円、C六千円(税別)の3コース。Cはお任せとなる。ディ

電話 (566) 2680
営業 昼11時30分~14時30分
夜18時~21時(オーダーストップ)
賞切可
定休 水曜日
駐車 5台

場所 草津市若草1丁目6の7
電話 (566) 2680
営業 昼11時30分~14時30分
夜18時~21時(オーダーストップ)

若草で店を開いたのは「住んでいる人たちに気軽にフランス料理を演出している。料理に移る。ランチメニューは、A千二百円、B千八百円、C二千五百円(税別)の3コース。Aは基本で前菜、スープ、魚または肉、デザートとコーヒーか紅茶。Bはオードブルが選択可能となり、デザートは盛り合わせとなる。Cはメインが魚と肉の2種、色数も増える。

「おはようございます、こんにちは、こんばんは」という明るい心。「はい」という素直な心。「すみません」という反省の心。「私がいります」という積極的な心。「ありがとうございます」という感謝の心。「おかげさまで」という謙虚な心。人を思いやる心と許す心。



セブンスイレブンから山手幹線を岡本方面へ100mほどにビストロ「ルポルポ」はある。ビ

ストロとは居酒屋とか気軽な、ルポは休息という意味である。店は2階建てで1階がレストラン、大津市のロイヤルオークで修業を積んだというオーナー兼シェフの清水久幸さん(37)と店を切り回す奥さんの清美さんが2階に住む。

「楽しんでもらいたいから」という。家庭的で、子ども連れでも気楽に入れ、しかも安価で地域に根付いた店、自分が行ってみたいと思うような店を目指している。清水さんははにかむように微笑む。

みんなの広場

「おはようございます、こんにちは、こんばんは」という明るい心。「はい」という素直な心。「すみません」という反省の心。「私がいります」という積極的な心。「ありがとうございます」という感謝の心。「おかげさまで」という謙虚な心。人を思いやる心と許す心。

自訓の言葉

載された、地域社会を考える記事

20年を超え、生活環境の成熟した私の大好きな志津南若草の町で、より以上に地域住民の自主性と市民としての自覚を基に、住民同士の連帯、人間味つながりの暖かさ、融和などを

児童遊園のフェンス改修
草津市の改修対象となった若草3・4丁目(写真)の児童遊

園フェンスの工事が9月10日に完了しました。

